

いってみっけ。海と山の、イイとやま。

2022
秋冬号

うみやま

TOYAMA FREE PAPER

2022.AUTUMN-WINTER



特集—心ときめく時を求めて—

—アートでめぐる、とやま旅へ。





〈富山県美術館〉



アートでめぐるとやま旅へ。

脈々と、とやま There is actual nature there.

富山市ガラス美術館 / TOYAMAキラリ

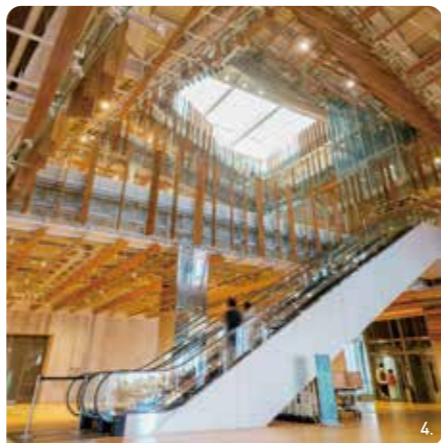
Toyama Glass Art Museum Tel. 076-461-3100



ガラスの新しい表情を知る

キラキラ輝く立山連峰のような外観そのものがアート。中央を貫く大胆な吹き抜け、天窗からの光、県産杉が創出する明るく開放的な空間に圧倒される。常設展では、1950年代以降の現代ガラスアートを中心に所蔵作品の一部を展示。柔らかさがあったり、温かそうに見えたり、「ガラスの街とやま」で知らない表情のガラスを見つけてみよう。

1. 2階ミュージアムショップ販売のガラス作家による作品(小林洋行さんの「一輪挿し あぶく」2. 齋藤悠子さんのとんぼ玉ブローチ)
3. 4階のコレクション展では、同美術館が所蔵する現代ガラス作品を展示。展示替えは年2回
4. 2階から6階までの壮麗な光景



富山県美術館

Toyama Prefectural Museum of Art and Design Tel. 076-431-2711



気軽に身近な、アート空間

ガラス張りのオープンな「富山県美術館」は、誰もがアートを発見し、実際に体験できる場所。大きな窓越しに見える豊かな自然は絵画のように美しく、展示室へ向かう廊下は木の温もりに満ちていて、心静かにアート鑑賞を楽しめる。また、「アートとデザインをつなぐ」というコンセプトどおり、20世紀の名作椅子や、言葉を超えるポスターのコレクションも多彩。屋外広場では、彫刻家・三沢厚彦さんによるクマをモチーフにした作品との記念撮影もしてみよう。

アートに詳しい方もそうでない方も楽しめる美術館です。自由に美術を鑑賞したり、屋上の遊具で遊んだり、施設全体をご堪能ください。



富山県美術館 学芸員 / 碓井 麻央さん

特別な出会いを求めて美術館へ

ハッとしたり、ドキッとしたり、ワクワクがとまらなくなったり。富山には、感性を刺激するアートとの出会いがたくさんあります。いろいろなスポットで、日常では味わえない体験をしてみませんか。



富山県水墨美術館

The Suiboku Museum, Toyama Tel. 076-431-3719



水墨画は単なる黒ではなく、青墨や茶墨などの色彩や濃淡があり、さらにぼかしなど多様な技法があるのが魅力。見るほどに奥深い水墨画という日本文化の美を、平屋の瓦葺きという伝統的な日本建築で堪能してみよう。鑑賞後は木製ベンチに腰掛けて、芝が広がる中庭を眺めて寛ぐのもいいかも。

1. 青々とした高麗芝が美しい中庭。春は枝垂れ桜、秋は紅葉と四季折々の風情も楽しめる
2. 常設展示室では、近代日本画壇の巨匠・横山大観の作品も見られる



セレネ美術館

Selene Museum of Art Tel. 0765-62-2000



宇奈月温泉に位置し、豊かな自然に囲まれた美術館。平山郁夫など現代日本画壇を代表する画家が、同館のために描いた作品を常時鑑賞できる。そのテーマは「黒部峡谷の大自然」。多様な視点で切り取られた黒部峡谷を楽しみたい。地元アーティストの作品を展示するギャラリーもチェックを。

1. 宇奈月町出身の洋画家・戸出喜信さんが描いた長さ9mの作品「黒部川」も必見
2. 自然に抱かれるように立つ美術館。近くには3箇所の足湯もある



1. 夕暮れ時には、外観そのものがアートに。外壁に用いられたアルミが夕焼けを反射して赤く染まる日もあり、その眺めも美しい 2. 館内3階の「アート&イート」をコンセプトとするレストラン「BIBIBI&JURULI」の借景アフタヌーンティー(要事前連絡) 3. このクマが、彫刻家・三沢厚彦さんの作品。一緒に撮影できるなど、親しみやすい「作品」であることが魅力 4. ガラス張りの窓からは富山運河環水公園、晴れていれば立山連峰を眺めることもできる

MORE INFO \お得に美術館めぐりするなら/

「アートのまちめぐりパスポート」を活用して、本誌掲載の美術館のほか県内の対象施設をお得にめぐろう。詳しくは11Pへ!

MORE INFO \WEB版もチェック!/

「うみやま」のWEBページでは、冊子に載せきれなかったプチ情報もプラスして公開しています。こちらの二次元バーコードからチェック!





シェ・ヨシ

Chez Yoshi Tel. 076-431-0533

富山ゆかりの文学を発信し、2022年夏に開館10周年を迎えた「高志の国文学館」併設のフレンチレストラン。フランスなどで学んだオーナーシェフの毛利さんが富山の食材を鮮やかに調理。自然の息吹を感じさせる地元作家の器使いも魅力的。

1. 酒粕和牛 ランプの炭火焼きは、八尾町の下尾和彦さん・さおりさんによる木エユニット「ShimooDesign」の器で。2. 富山のお米「富富富」の焼きソート、魚介のソース。血は釋永岳さん。「釋永さんの器にはパワーを感じます」と毛利シェフ



シェフに聞きました!

地形や自然に恵まれ、海の幸も山の幸も豊富な富山には、お料理を盛り付けるのが楽しみになる器を作る作家さんもたくさんいます。力のある器との出会いも楽しく素敵にしてください!

シェ・ヨシ オーナーシェフ/毛利 義信さん

富山の工芸に触れる食体験

富山メイドの素敵な器で食事を楽しめるスポットをご案内。器と富山の味覚のマリアージュを目でも存分に味わって。



1.



2.

茶寮 和香

Saryou Nicoca Tel. 0766-75-8529

「ものづくりの町・高岡でしかできないこと」を追求する店主の早川勇人さん。金屋町発の「四津川製作所」などの器を活かし、鋳物職人が暮らした町屋をリノベーションした店舗で富山の味覚を提供する。

1. 高岡「アルベキ社」による漆と彫刻の技術を組み合わせた長皿には8寸を 2. 存在感のある鉄製の皿は高岡「佐野政製作所」の作



1.



来人喜人 はぎ原

Kito Kito Hagiwara Tel. 076-482-3739

店主の萩原豊さんは、多くの器を地元作家に独自にオーダー。魚津漆器に富山の切子、越中瀬戸焼など、コース全体で富山の食材と器とのマッチングを楽しませてくれる。

1. ぶり大根は越中瀬戸焼の釋永由紀夫さん作の器で 2. 越中瀬戸焼の吉野香岳さんにオーダーしたという富山県型の皿で出される、おしこのますの寿司



2.

小さなアート、いただきます!

富山の旅の思い出に、美しいお土産をお持ち帰り。見た目だけでなく、歴史や文化も感じられるおすすめの逸品をご紹介します。自宅に帰ってからも、楽しかった旅の余韻に浸ってみて。



高岡ラムネ

大野屋 Tel. 0766-25-0215

創業180余年の和菓子屋が作る、「現代版の落雁」をイメージしたかわいらしいラムネ菓子。伝統的な和菓子木型を用いた美しい造形は、工芸品のように繊細でおしゃれ。高岡の新旧の文化と職人技が創り出す新感覚な和菓子も、目で味を楽しもう。



上生菓子

引網香月堂 Tel. 076-471-8755

ひと目でその美しさに引き込まれる、創業103年の和菓子店「引網香月堂」の上生菓子。伝統を大切にしながらも型にはまらない独創的なお菓子は、食べるのがもったいないほど優美。五感に響き心を満たすアートな和菓子を持ち帰ろう。



細工かまぼこ

梅かま Tel. 076-479-1850

全国有数の細工かまぼこ県・富山。お土産におすすめのミニサイズには、定番の伝統柄をはじめ、フルーツや動物などのかわいいモチーフも。一つひとつ手作業で細工を施すため、表情に個性があるものもいろいろ。お気に入りを探してみよう。

金ノ三寸

Kanenosanzun Tel. 080-5859-6343



鋳物職人の町「金屋町」に佇む、築100年の民家を改装した一棟貸しホテル。銅器メーカーの四津川製作所代表が営む、「高岡銅器を実際に使う、体感する、生活の中に溶け込ませる」がコンセプトの宿。伝統的な意匠にモダンデザインと匠の技を融合した空間は、安らぎを感じつつも感性が大いに刺激される。情熱ある町並みも楽しみながら、高岡クラフトの文化や魅力に触れよう。

1. モダンで落ち着いた客室 2. 金屋町らしい格子戸「さまのこ」から漏れる光も空間デザインの一部に 3. アート空間のような照明演出も素敵 4. 遊び心のある寛ぎ空間



1.



2.



3.



4.



モノづくりの魅力が宿る民家ホテル

オーナーに聞きました!

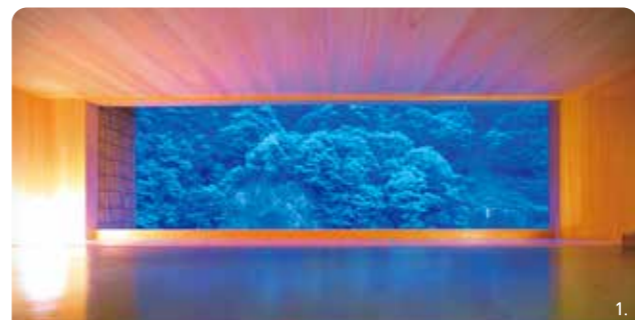


富山の本当の魅力は、観光スポットを巡るだけでは分かりませんが、ゆっくり滞在し、町歩きや地元の人との交流も楽しみながら、いつもとはひと味違う旅体験をしてください。

金ノ三寸オーナー/四津川 元将さん

アートな宿でゆったり泊まる

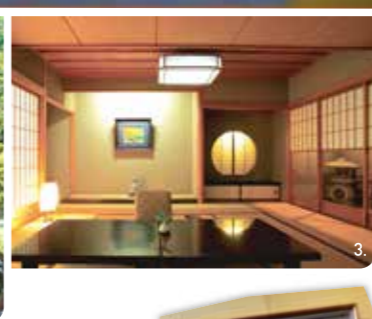
宿泊だけでなく、芸術作品や工芸、美しい景色も楽しめるアートな宿をご紹介します。五感を研ぎ澄まして心潤う非日常ステイを楽しもう。



1.



2.



3.

リバーリトリート雅楽倶

River Retreat Garaku Tel. 076-467-5550



素敵な作品が館内のおちろこちらに。

メインエントランスを抜けると、コンクリートの壁がモダンな印象の開放感あふれるロビー、そして神通峡の雄大な景色が広がる。すべて異なるテイストの23の客室、オーディオから流れる洗練された音。随所に展示された約300点のアート作品なども非日常感たっぷり。癒しと刺激が同居した隠れ宿へ出かけよう。

1. 光と影のコントラストを取り入れたパブリックスペース 2. コンクリートブロックを校倉に組んだ壁もアート 3. 画家・関口彩さんの作品

富山って、癒しだなー



オリジナルの作品もあるのを探してみよう!

延楽

Enraku Tel. 0765-62-1211



美食、名湯、おもてなしが評判の伝統と格調ある老舗旅館。絵画の世界に入り込んだような樹齢400年の総檜風呂「華の湯」や、延楽ゆかりの文人墨客の作品が随所に展示されていることでも有名。館内を歩けば思わぬ名作に出会えるかも。まるで美術館のような宿で、ゆっくり雄大な自然と日本の美に触れよう。

1. 宮大工の手によって作られた絶景露天風呂「華の湯」。湯鏡に映る景色も美しい 2. 黒部峡谷を望む客室露天風呂 3. 客室は高級感あふれる和モダンな設定



脈々と、とやま There is actual nature there.

アートでめぐるとやま旅へ。



町に愛される 越中八尾和紙みつけ



MAP NO.13 専能寺 Sennouji
Tel. 076-455-2998

漆や金箔、彩色を施した内陣が伝統文化を重んじる八尾町の気風を伝える。西本願寺の寺紋である下り藤と専能寺の紋を配した天井絵は、吉田桂介さんの型染めによる越中八尾和紙。

MAP NO.12 山元食道 Yamamoto Shokudou
Tel. 076-455-2209 (金土日 11:30-14:00 / 夜は予約のみ)

店主の山本武良さんは吉田桂介さんの人柄と越中八尾和紙にほれ込んだ一人。1階の壁には柿渋を塗った無地の和紙を、2階の特別室には吉田さんがとりわけ好んだという絵柄の和紙を壁紙に採用している。

1. 「おわら風の盆」の暖簾が目印
2. 越中八尾和紙は座布団カバー、腰板にも
3. 牛すじ煮込みやメンチカツなどの「気まくれランチ」のほか、牛すじカレーも人気

「桂樹舎」のみならず、町のあちらこちらに、越中八尾和紙の型染めの技法を活かしたデザインを見つけることができます。越中八尾和紙と八尾の町、そして民藝を愛した吉田桂介さんの美意識を感じる町歩きを楽しんでみませんか。

八尾町では古くから和紙が作られ、かつては薬を包む紙として富山の売薬文化も支えました。明治にかけての最盛期には各家庭で紙漉きがなされましたが、工業化が進み、やがて衰退します。そんななか、和紙の普及に尽力したのが「桂樹舎」を創業した故・吉田桂介さんです。

柳宗悦らによる、民衆の日々の暮らしに宿る美を残そうとする民藝運動が盛んな当時、吉田さんは、重要無形文化財「型絵染」の保持者で人間国宝の芹沢銈介と出会い、型染め用の和紙の依頼を受け、型染めにも耐えうる丈夫な和紙を開発。これを機に、現在のような多彩なデザインの越中八尾和紙が誕生したのです。

厚手で丈夫な越中八尾和紙はバッグやクッションカバーなどのインテリア雑貨にも用いられています。和紙本来の優しい手触りはそのままに、また、使い込むほどに味わい深く、多くの人々を魅了しています。

ぬくもりを感じる
絵柄と風合いで
愛され続ける。



型染の技は、 こんなところにもありました



杉山和紙民芸品店
Sugiyama Washi Mingeihinten

古くはこちらも紙漉きをしていたそう。各地の和紙のほか、紙製の素材で小さな置物などを扱う機かしき漂う一軒。

吉田桂介さんは八尾町の様々なお店を訪ねては、越中八尾和紙ならではの型染めの技を活かし、暖簾や商品パッケージのデザインを提案したり、依頼を受けたりしていたとか。「杉山和紙民芸品店」は吉田さんの手による暖簾を掲げ、「桂樹舎」の商品も販売している。名菓「おわら玉天」で知られる「林盛堂」では吉田さんが包装紙を手掛けたお菓子「あまんだら」も人気。



林盛堂 Rinseidou

ラムレーズンをマロン餡に混ぜ込んだ「あまんだら」。試食した吉田さんの目に浮かんだ風景が、そのままパッケージデザインに。富山のモチーフを独特のタッチで描いた包装紙も吉田さんの手による。

紙漉き体験も
できますよ!



「桂樹舎」代表・二代目
吉田泰樹さん



全行程が
手作業!



独自の防水・防汚加工を施し、紙とは思えないほどに丈夫な越中八尾和紙。かつては布でしか実現しえなかった型染めの技法による、どこか懐かしくもモダンなデザインが注目される。

MAP NO.11 桂樹舎 Keijusha
Tel. 076-455-1184
和紙を作り、愛で、学べるスポット

今も越中八尾和紙を作る唯一の工房。現在19名の職人が在籍し、創業者の吉田桂介さんが残した約300の型を活かした和紙作りに励む。昭和の中頃に建てられた小学校の分校を移築した「和紙文庫」では、世界各地の様々な時代の經典や紙でできた民藝品、紙のルーツを探る資料など約2000点の吉田さんのコレクションを展示。紙漉きは火曜～金曜であれば体験も可能(要予約)。ショップでは人間国宝・芹沢銈介のデザインによる人気のカレンダー(数量限定)のほか、小箱やバッグなど多彩な小物を販売。

1. 染めない部分に糊を塗る「糊置き」の作業
2. この後、「地染め」「色差し」といった彩色の作業に移る
3. テーマごとに4つの空間にわたって紙にまつわる資料や民藝品を展示する和紙文庫
4. 和紙文庫のインテリアに映えるクッションカバーも越中八尾和紙でできたもの



TOYAMA FREE PAPER
うみしやま
GOOD TRAVEL
はっとするよ、とやま
You can find a superb Craftspersonship there.

えっちゅう やつお
「風の盆」の町で生まれた越中八尾和紙
富山を代表する祭り「おわら風の盆」で知られる八尾町では室町時代から和紙作りが盛んでした。戦後、柳宗悦らによる民藝運動と共に越中八尾和紙として独自に進化。今もさまざまな形で町を彩っています。



型染めの味わいと
大胆な色使いが魅力



MAP NO.15 きとぎと食堂 Kitokito shokudou
Tel.0766-54-0310

創業85年の老舗鮮魚店が営む食堂

朝早くから地元漁師や旅行者で賑わう、5時半開店の漁港食堂。地元で評判の「土屋鮮魚店」の目利きが仕入れる魚は、鮮度も味も抜群。漁港の雰囲気を楽しみながら、富山の幸をお腹いっぱい楽しもう。

1. 新湊漁港でその日獲れた旬の魚を漬け込んだ「魚屋のまかないづけ丼」(500円)
2. シロエビとカニが一度に楽しめる贅沢な一杯「紅白丼」(2,000円)



富山県内には、古くから漁業が盛んな港町がいくつもあります。今回紹介する食堂は、県内屈指の水揚げ量を誇る、新湊、氷見、水橋、魚津、魚津のそばにある4店。どの食堂も、目の前の漁港で水揚げされる朝獲れの魚を使っているため、これ以上ないほど鮮度も味も抜群で、地元の人たちにも愛されています。漁港の活気ある雰囲気を体験したい人におすすめなのが、朝早い漁港に合せて早朝から営業している「きとぎと食堂」と「氷見魚市場食堂」。氷見魚市場食堂では、お店の目の前で行われる朝競りも見学できます。さらに、「水橋食堂 漁夫」に置かれている地元水橋の「おさかな図鑑」を読めば、富山の魚がおいしい理由が分かるはず。富山の食文化に触れたい人は、お客さんとの触れ合いも大事にしている「魚津丸食堂」へ。食材について丁寧に説明してくれるので、気になる魚があれば積極的に聞いてみましょう。

秋冬は、魚の身が引き締まり脂ものつてさっぱりとした旬の味。カニやブリなどの富山を代表する魚介も旬を迎えます。この最高においしい魚を求めて、富山の海の幸を巡る旅を計画してみてください。

朝獲れの新鮮な
おいしい魚を
いただきます！

MAP NO.16 水橋食堂 漁夫 Mizuhashishokudou Gyofu Tel.076-460-3758
おいしい魚をいろいろと、少しずつ

「地元で獲れる魚を地域の人に楽しんでほしい」という想いから、水橋漁港横に2021年に誕生した地元漁師らによる海鮮食堂。漁師と料理人で考案しているメニューは、味はもちろん見た目も華やか。中でも、カニやシロエビなど10種類から好きな小丼ぶりを組み合わせられる「水橋選べる小丼ぶり 6種」(2,090円)が女性に人気。冬期はブリの小丼ぶりもおすすめ。



MAP NO.17 魚津丸食堂 Uozumaru shokudou Tel.0765-32-5831
海を眺めながら富山湾の恵みに舌鼓

魚津漁業協同組合がプロデュースする、漁協倉庫を改装したおしゃれな港町食堂。「暮らしの中にある魚津の食卓」をコンセプトとした魚津名物の「バイ飯定食」(1,000円)など、素材の良さを活かした料理を楽しんで。店員さんの明るく親しみやすい接客も評判。



「天然の生け簀」と称される富山湾は、日本海に棲む魚介類約800種のうち、500種類以上が生息している魚介の宝庫。県内の漁港には毎朝様々な魚介が水揚げされ、活気であふれています。その朝獲れたばかりの魚を、どこよりも新鮮でリーズナブルに楽しめるのが、漁港そばにある食堂。地元の人たちに交じって、「きとぎと(新鮮)な富山の海の恵みが堪能できるお店をご紹介します。



MAP NO.18 氷見 魚市場食堂 Uoichiba shokudou
Tel.0766-72-2018

氷見の魚が豪快に盛られた名物丼

鮮魚仲卸の老舗「釣屋魚問屋」が運営する、氷見漁港2階の人気食堂。目の前の市場で朝競り落とされた氷見獲れの魚だけを使うため、鮮度の高さはお墨付き。名物の海鮮丼を目当てに、早朝6時半の開店から賑わう。丼ぶりと定食に付く漁師汁もあわせて、魚の旨みを存分に堪能しよう。

1. 漁師飯の定番「氷見海鮮 漬丼」(1,870円)。最後に熱々のお汁をかけて食べれば1杯で2度おいしい!
2. 名物の「氷見浜丼 はんざ盛(大盛)」(2,520円)

見どころ満載・富山のお寺



歌人・大伴家持ゆかりの地に建つ古刹
約3万㎡の境内、本堂をはじめとする12棟の建造物が重要文化財に。秋にはアートイベントも催される。

雲龍山 勝興寺
高岡市伏木古国府17-1 Tel.0766-44-0037



井波が誇る日本有数の木造建築寺院
1918年に井波彫刻の粋を集めて再建された太子堂が見どころ。見事な鳳凰や龍などが彫られた手拭や木鼻は必見。

井波別院 瑞泉寺
南砺市井波3050 Tel.0763-82-0004



迫力満点の不動明王像は圧巻!
巨岩から浮き出るように彫られている不動明王像は中部地方の最高傑作とも。大寒の滝打ちの業も知られる。

大岩山 日石寺
中新川郡上市町大岩163 Tel.076-472-2301



市っちり甘い
麒麟焼きでひと休み♪

1. 陽光に輝く仏殿の屋根は江戸城にも用いられている鉛瓦 2. 天蓋の奥には美しい天女の姿が 3. 瑞龍寺の特製おやつ「麒麟焼き」。住職がデザインし、高岡の鋳造工場で製造された麒麟の焼き型が使われているほか、米粉や餡、きなこなどの素材ももちろん富山産(1個200円〜)



4. 前田利長を祀った法堂。「トイレの神様」として親しまれる鳥羽沙摩明王も隣に祀られている 5. 回廊には雲散が。かつて修行僧に食事の準備が整ったことを知らせるために鳴らされた 6. 国宝である総僧造りの仏殿には、ご本尊の釈迦如来が安置されている 7. 仏殿は軒下にも趣向が凝らされている。放射状に木材が組まれた上が中国式、直線に組まれている下が日本式

境内の隅々に漂う歴史に

心揺さぶられる寺院めぐり

世界に響く、とやま

There is a tradition resonating with the world.

県内唯一の国宝である瑞龍寺をはじめ、瑞泉寺、勝興寺、日石寺など、富山には時を超えた美しさを誇る寺院が点在しています。創建した古の人々の想いに触れ、心鎮まる寺院でのひとときは、富山の旅をきっと印象づけてくれることでしょう。



WEB版も
チェック!



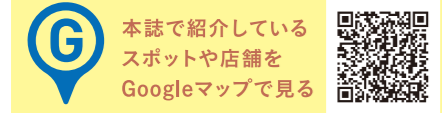
MAP NO.18

高岡山 瑞龍寺
高岡市奥本町35 Tel.0766-22-0179

TOYAMA MAP

本誌で紹介している場所は

- 01 富山県美術館
- 02 富山市ガラス美術館
- 03 セレネ美術館
- 04 富山県水墨美術館
- 05 金ノ三寸
- 06 リバーリゾート雅楽倶
- 07 延楽
- 08 シェ・ヨシ
- 09 茶寮 和香
- 10 来入喜人はぎ原
- 11 桂樹舎
- 12 山元食道
- 13 専念寺
- 14 氷見 魚市場食堂
- 15 きときと食堂
- 16 水橋食堂 漁夫
- 17 魚津丸食堂
- 18 瑞龍寺



富山には堂々たる存在感を放ち、魅力的な建築美を誇るお寺が数多くあります。代表的なのが国宝でもある高岡市の瑞龍寺。ものづくりの町・高岡の開祖、前田利長の菩提寺として約380年前に創建されました。かつては「北陸の平等院」との異名を持ったほど、細部に至るまで美が追求されています。

山門と法堂をつなぐ回廊に囲まれた敷地は黄金比率に忠実に設計され、左右対称の伽藍配置、赤と青の戸室石を市松に配した参道、樹齢600年もの榎の木目を雲海に見立てた仏殿など、当時の最高峰の材料と技が集められており、江戸時代初期の禅宗寺院建築として高く評価されています。住職やガイドさんの丁寧な案内にもぜひ耳を傾けてみて。教科書では字はなかった驚きのエピソードやユニークな考察も聞かれます。

ほかには、23年に亘る「平成の大改修」を2021年に終えたばかりの勝興寺、富山が誇る井波彫刻を随所に散りばめた瑞泉寺、巨岩に彫り出された不動明王像で知られる日石寺などもおすすめ。お寺巡りで、歴史のなかで培われてきたさまざまな美(アート)に触れることができます。

瑞龍寺の伽藍配置の秘密
そこに立ってみて初めてわかる空間のマジックとは?

瑞龍寺は総門、山門、仏殿、法堂が一直線に並び、それを中心に禅堂と大庫裏、さらに、かつての浴室と七間浄頭(お手洗い)が左右対称に配置されており、そこに佇むだけで清らかな時間を感じるような心地よさがあります。ディテールの美しさはもとより、空間全体でも美を表現しています。

「北陸の平等院」との呼び声も▶

瑞龍寺には平地だからこそ作る
ことのできる空間の美学があります。
当時ならではの「映え」
ポイントも満載ですよ!

説明当番
瑞龍寺 住職
四津谷 道宏さん

PICK UP!
3000



SPOT

1.彫刻作品のほか、木箱の音と石畳の美しい音風景が広がる「八日町通り」 2.瑞泉寺にちなんだアケセサーニなどが揃う「テラまち雑貨店」 3.通りには木彫りの猫が30匹も 4.趣ある「蕎麦懐石 松屋」で大正元年創業以来こだわりの味を堪能 5.井波彫刻発祥の瑞泉寺 6.普段は非公開の特別な空間で写真写経体験

車でめぐり
コース

NANTO
*
南砺
エリア

WEB版も
チェック!
QRコード

南砺市井波は、日本一ともいわれる伝統・木彫刻の技と美が町並みに溶け込む、まさに美術館のようなまち。繊細ながらも豪華な木彫りの装飾の「つひとつをじっくり鑑賞し、厳かな古刹で心をととのえる特別なひとときをぜひ。どこからともなく漂う木彫刻の木の香りに包まれながら、通りの散策に出かけよう。

Schedule

10:00 ①②八日町通り周辺を散策
季の美や③テラまち雑貨店で買い物

12:00 ④蕎麦懐石 松屋でランチ

13:30 ⑤瑞泉寺で⑥写真写経体験

15:30 アートギャラリー瑞庵で休憩

下線部分は VISIT 富山県プラン対象です



富山には、足を踏み入れた瞬間からアートの世界に誘う、個性あふれる刺激的な美術館が充実。表情豊かな各地の美術館めぐり、富山を満喫するなら、「アートのまちめぐりバスポート」を活用した2日間のコースがおススメ。なかでも富山市内や宇奈月エリアでは、鉄道・市内電車共通の「フリーきっぷ」も使えて便利。

黒部峡谷の玄関口に位置する宇奈月温泉は、お肌によさしい「美肌の湯」として知られており、日本でも随一の透明度を誇る。日帰り入浴や、駅のホームに引かれた珍しい足湯などでリフレッシュしながら温泉街を散策することも可能。

「宇奈月温泉駅」にほど近い、「黒部峡谷の大自然とアートとの融合」をテーマとした「セレネ美術館」は必見。現代日本画壇を代表する画家たちによる作品を常設展示し、美しい秘境・黒部の魅力を未来へ伝える絵画の一点一点は、引き込まれるような奥深さがある。また、館内のカフェでは、県内クラフト作家による作品を展示販売しており、お気に入りに出合えるかも。

アートの街とも呼ばれる富山市中心部では、宇奈月とはまた異なる美に心動かされる。バスポート片手に市内電車に揺られながら、モダンな建築美とデザインコレクションを楽しむもよし、多彩なガラス芸術を鑑賞するもよし、日本庭園の伝統美に触れるもよし。まち歩きのコラボレーションには、「富山湾船セットクーポン」利用により定額で味わえる、旬の地魚を活かした極上船が格別。新旧の文化が共存するまちへ、富山旅の新たな発見にだけかけよう。

富山地方鉄道・
市内電車めぐり
コース

UNAZUKI to TOYAMA
*
宇奈月
富山
エリア

WEB版も
チェック!
QRコード

Schedule

1日目

10:38 富山駅から①富山地方鉄道

12:18 ②宇奈月温泉街散策

12:30 ランチ

14:00 アートのまちめぐりバスポートを使って
③セレネ美術館へ

16:00 温泉チェックイン

2日目

10:32 富山地方鉄道で宇奈月温泉駅から
富山市内へ

12:09 富山駅到着

12:30 ④富山湾船提供店でランチ

14:00 アートのまちめぐりバスポートを使って
⑤美術館めぐり

下線部分は VISIT 富山県プラン対象です



SPOT

1.地元で獲れた多彩な海鮮を扱う食事・土産処も 2.新湊漁港内にある「カニ小屋」で、獲れたてのベニズワイガニを丸ごと一杯味わえる 3.着付けをしてみたい「おきがえ処・内川KIPPO」 4.築100年を超える旧船問屋を改装したカフェでひと休み 5.着物姿で内川べりのレトロな雰囲気に浸って

万葉線めぐり
コース

MIZU
*
射水
エリア

WEB版も
チェック!
QRコード

新鮮な海産物の食と、ノスタルジックな川辺に魅了される、県西部の射水市。お隣の高岡市から路面電車「万葉線」でアクセスが可能。種類豊富な海の幸を扱う港近くの飲食店やお土産処、映画のロケ地でも有名な内川べりなど、まち歩きが楽しいスポットが満載。港町ならではの魅力を十分に味わって。

Schedule

10:00 高岡駅から万葉線

11:00 ①新湊きつとときと市場で買い物

11:25 ②かに小屋でカニに舌鼓

12:30 昼セリ見学

13:30 ③おきがえ処・内川 KIPPO で着付け

14:30 ④⑤内川を散策

16:00 万葉線が高岡駅へ

下線部分は VISIT 富山県プラン対象です



1.車窓からの景色を眺めながらゆったり富山地方鉄道の電車旅へ 2.黒部峡谷黒箱から引く温泉噴水は宇奈月温泉駅前のシンボル 3.「セレネ美術館」併設のカフェで、黒部の名水で淹れたコーヒーや紅茶でほっと一息 4.外の景色をのぞむ開放的なガラス張り特徴の「富山県美術館」と、一帯の公園とのコンビネーションが美しい 5.「富山県水墨美術館」の南側にある茶室「墨光庵」は誰でも気軽に利用可能。四季折々の表情豊かな庭園もアート(土日祝営業) 6.「天然の生け簀」と称される富山湾で水揚げされた新鮮・豊富なネタのお鮨は地元でしか味わえない贅沢

红色的絨毯
カニの昼セリ

全国的にも珍しい、「昼セリ」が見学できる新湊漁港。秋からの主役、「高志の紅ガニ」と呼ばれるベニズワイガニは、鮮度を保つため、昼のうちに揚がったそばから競りにかけられる。床一面、紅色に埋め尽くされる光景は圧巻で、威勢のよい競りの声が響く。漁師さんや仲卸業者の「高い志」が光る瞬間を覗いてみて。
*天候などの理由により昼セリは中止となる場合あり。

アート旅のお供
「アートのまちめぐり」
バスポート」をゲット!

富山のアートを満喫するなら、県内の美術館を中心とした対象施設で使えるお得なクーポンチケットを要チェック。施設毎に定められたポイント分のチケットと引き換えに常設展を閲覧できるクーポンで、インターネットやコンビニなどで購入手続きができて便利。1枚3ポイント綴りが600円(税込)で買えて、通常より安価に入館できる施設もあるので、ぜひクーポンを活用して足を伸ばしてみてください。

鉄道線・市内電車共通フリーきっぷ、
富山湾船セットクーポンほか、お得な
プランも扱う富山の観光・旅行予約サイト
VISIT 富山県はこちら

とやまのお土産を当てよう!

SNS Present Campaign

プレゼントキャンペーン

TwitterもしくはInstagramアカウント(@umitoyama_jp)をフォローし、該当のキャンペーン投稿を【リツイート(Twitter)】または【いいね(Instagram)】&今号掲載箇所で行ってみたいスポットをコメントしてくれた方々の中から、抽選で「とやまのお土産」をお届け! (11月15日締切)

食卓にアクセントを添える真鍮の箸置き

1



HASHI Rest HISHI
※2本セット
(四津川製作所)

2名

日常になじむ愛らしい越中八尾和紙アイテム

2



いろいろ使える和紙のしきもの
(桂樹舎)
+和紙名刺入れ
(富山もよう×桂樹舎)

3名

カラーは一例です

水橋食堂で親しまれるご当地醤油をガラス瓶で

3



100ml食べ比べセット
(マスイチ醸造)と
ガラス豆皿(戸島邦子)

一式

2名

木片から抽出!木彫りのまち井波が香る

4



エッセンシャルオイル CANO/1
3種の香り小瓶セット
(季ノ実)

2名

詳しくは⇒



うみやま公式SNS



誌面には載りきらなかった富山の観光情報など、画像と共に発信しています。ぜひご覧ください。



Twitter



Instagram



漁師のおやつ

「ほたるいかの素干し」

RYOUSHI NO OYATSU



渡す前に自分で食べてしまう率No1

860円

個人的には、好きすぎて逆に紹介を悩むほどの逸品なだけに、普段2分くらいで書き終わるこのコーナーも今回は慎重にならざるを得ません。しっかり実物を手に取り、丁寧に観察しながら筆を取りたいと思います。思えば(モグモグ)大学生時代から実家に帰る新幹線(モグモグ)の車中でもよく食べたなあ。移りゆく車窓を遠い目で眺めながら頂くビールとのペアリングは、もはや(モグモグ)言葉に、なりません。ふはー。ず・ずみません、誰か僕の手を止めてください!もうこれ以上食べたら、本当にやば……。モグモグ。ふはーっ!

カネツル砂子商店 滑川市北町1253/☎076-475-0035

うみやま2022秋冬号 No.3

発行日:2022年9月29日

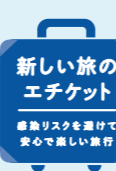
発行元:富山県地方創生局 観光振興室

※本誌掲載情報は、2022年9月16日現在のものです。新型コロナウイルス感染症の影響により、営業日や営業時間の変更などが想定されます。

ご利用・お出かけの際には、お問い合わせのうえ詳細の確認をお願いします。

※価格は特記事項のない限り税込表記です。

「うみやま」WEB版はこちら!

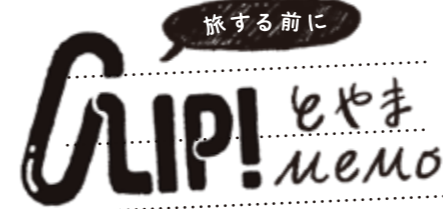


ひとり一人の協力が、みんなの楽しい旅を守ります

新しい旅のエチケットはこちら▶



「もっと知る? ちょっとディープな富山のモノ&コト」



富山の魅力をもう一度! お得なキャンペーン開催中!

-とまって富山、もらって富山キャンペーン-
富山県内の対象宿泊施設に泊まると、抽選で県内各地の特産品5,000円相当がもらえるという、お得なキャンペーン開催中! 特産品のラインアップは、海と山に囲まれた富山自慢の味覚から伝統工芸まで大充実。シロエビや昆布、黒作りなど富山を代表する海の幸が揃う「海の恵みコース」に、富山牛、お米、ブラックラーメンなど地元で愛され続ける味が詰まった「大地の恵みコース」、「銘菓コース」、「銘酒コース」、「富山雑貨コース」の5種類から好みのものを選ぶ。

対象宿泊施設でもらえる応募用紙に記されたIDを使ってウェブからアンケートに答えて応募すると、当選者には翌月末にプレゼントが届くという仕組み。どんな特産品が当たるかは届いてみてのお楽しみ。泊まって楽しい、当たってうれしい、富山の魅力を二度味わえる最高のチャンス。ぜひ参加してみてください!



対象宿泊施設で1グループにつき1枚渡される応募用紙をもらったら、早速ウェブで応募しよう。 gototoyama.com

今号の表紙から振り返る編集後記

COVER PHOTO STORY



富山市ガラス美術館



三沢厚彦(Animal 2017-01-B)(富山県美術館)

★自然から生まれる富山のアート
力強い眼差しが印象的な表紙のクマは、「富山県美術館」のシンボリックな作品としても知られる三沢厚彦さんの作品。立山開山伝説や富山の雄大な自然に触発されて制作されたのだそう。もっ一点は、隈研吾さんが手がけた設計も見どころの「富山市ガラス美術館」のカット。県産杉の羽板が天井から降り注ぐ光をやさしく反射し、作品だけでなく、歩く人さえもやさしく包み込むよう。各美術館で、作家や建築家を刺激する富山の魅力にふれてみて。

撮影 大木賢
1994年富山県生まれ。スペインに留学。サラマンカ大学でメディアを専攻。金沢大学在学中にフリーランスとして独立。広告、書籍などの撮影のほか、個人の日常風景も撮影する。

富山の酒ニューウェーブ TOYAMA SAKE/NEW WAVE

口当たりさっぱり。べろりといけちゃう日本酒カクテル

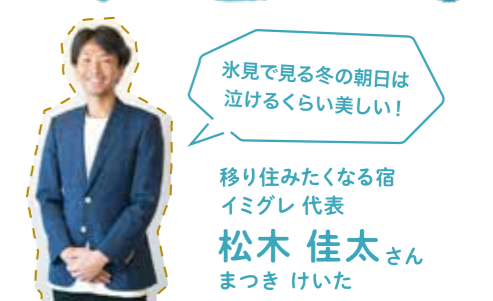
パール・デ・美富味「Peroトニック」

富山駅前 MAROOT1 階の日本酒バル「パール・デ・美富味」の看板ドリンクは、「べろり」と飲めちゃうことから名付けられた「Peroトニック」。日本酒はちょっと...という人でもトニックウォーターのスッキリ感と南砺市産のエディブルフラワーのほのかな甘味が相まって、飲みやすい味わい。女性客や観光客を中心に人気の一杯をぜひ。

パール・デ・美富味
Peroトニック/価格:800円/間:パール・デ・美富味
/Tel:076-482-4799/mitomi-toyama.com



最近HOTな地元人



氷見で見る冬の朝日は泣けるくらい美しい!

移り住みたくなる宿 イミグレ 代表 松木 佳太 さん まつき けいた

富山県氷見市で生まれ育った松木さん。一度は富山を離れたものの、2018年にリターンし、海沿いに移り住みたくなる宿「イミグレ」をオープンさせた。

「イミグレ」は全5室を擁するオーベルジュ・レストランでは氷見の食材をフレンチで楽しめるほか、全室から富山湾の絶景が眺められるのが魅力。海の向こうには立山連峰がそびえ、冠雪の時期はいっそう神秘的!「全国各地を歩いているような宿を見てきたなかでも、これこそがどこにも負けない氷見の魅力だと思えました」と松木さんも惚れ惚れするほど。

2022年夏には敷地内に新たにグランピング施設も誕生。ドーム型のユニークな客室では、波の音がいつそう近く感じられ、氷見の山海の幸たっぷりのBBQを味わえばリゾート気分も最高潮に。ここではせかせかせず、美しい氷見の景観の中に没入する心地よさを、ぜひ体感してほしいです。

グランピングは4名以上での利用で、一泊(食付き)25300円。本館は一泊(二食付き)18700円。

移り住みたくなる宿 イミグレ/氷見市小杉232-1/0766-92-2200/imigre.jp



移り住みたくなる宿 イミグレ/氷見市小杉232-1/0766-92-2200/imigre.jp

ズワイより早く食べられる！
とやまの「高志の紅ガニ」に夢中♡

9月1日から漁が解禁されている、とやまブランドの「高志の紅ガニ」。
全国的に珍しい屋セリ見学や、茹でたてのカニを味わえるスポットも見逃さない！

カニが
いっぱい！

屋セリ見学&新湊かに小屋で高志の紅ガニを味わうプランなど
富山ならではの現地ツアー情報はこちらから。

<https://toyama.visit-town.com/>



富山県への
アクセス



電車でお越しの方は		
東京駅	北陸新幹線 はくたか 約2時間20分	黒部宇奈月温泉駅
	北陸新幹線 はくたか 約2時間40分	新高岡駅
	北陸新幹線 かがやき 約2時間10分	富山駅
名古屋駅	高山本線 特急ワイドビューひだ 約3時間50分	
	東海道新幹線ひかり~米原駅~北陸本線 特急しらさぎ 北陸新幹線 かがやき 約3時間	
大阪駅	湖西線經由北陸本線 特急サンダーバード 北陸新幹線 つるぎ 約3時間	
飛行機でお越しの方は		
東京(羽田空港)	全日空 約1時間	富山きととき空港
札幌(新千歳空港)	全日空 約1時間30分	
お車でお越しの方は		
東京	関越自動車道線馬IC・上信越自動車道・北陸自動車道経由	富山IC
名古屋	東海北陸自動車道一宮IC・北陸自動車道経由	
大阪	名神高速道路豊中IC・北陸自動車道経由	

※新型コロナウイルス感染症等の影響により運休等している場合があります。

※所要時間に変動がある場合があります。



最新の観光情報・イベント情報はこちら。
富山県観光公式サイト【とやま観光ナビ】
<http://www.info-toyama.com/>



体験やバスツアーなど豊富なツアーが
24時間WEBから申込みOK【VISIT富山県】
<http://visit-town.com/toyama/>



【富山県プロモーション動画】
<https://youtu.be/ruv3MCCDTDQ>

富山県地方創生局 観光振興室 TEL.076-444-3500 富山県観光公式サイト「とやま観光ナビ」
(公社)とやま観光推進機構(観光案内窓口) TEL.076-441-7722 <http://www.info-toyama.com/> とやま観光ナビ

